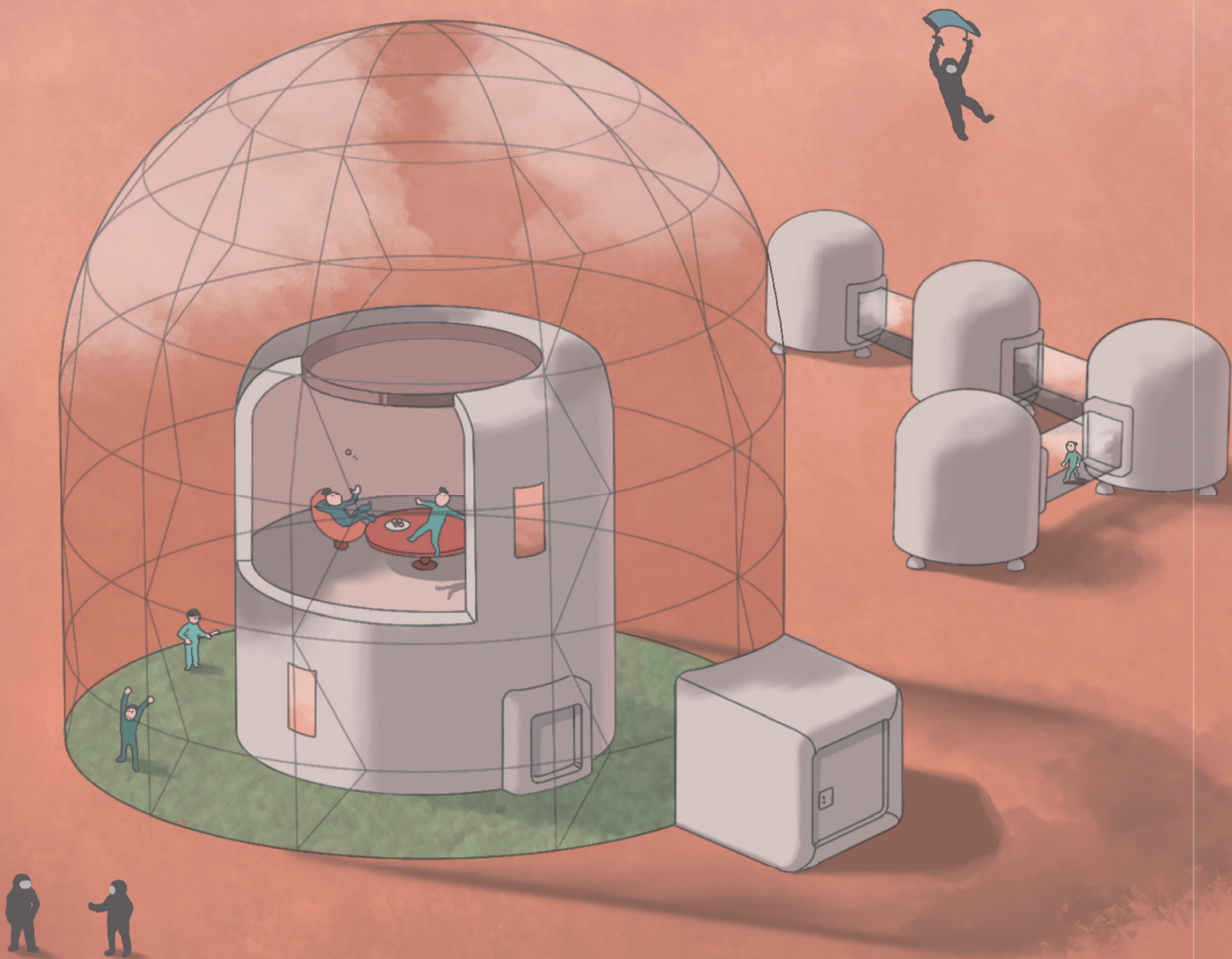


火星でおくる、人間的な生活の研究

A Contemplation of Humanity's Life on Mars



遠い星での生活に、人は何を求めるか

地球と大きく異なる火星の環境。人が生きていくには人工的に管理された空間で生活するしかない。そんな中でも豊かな生活を実現するには、太陽光の存在が重要になると考えた。「外に出て、毎日違う太陽光を浴びる」という地球では当たり前の体験が、火星では大きな価値になるのではないだろうか。

Things Deemed Essential to Living on a Planet Far, Far Away

Mars' environment is drastically different from the Earth. The only way for humanity to survive there is to live in artificially created facilities. Even so, I believe that sunlight will be indispensable for humans to flourish. "Going outside and bathe in sunlight – ambient and ever-changing" might be a trivial thing on Earth, but it will undoubtedly have a tremendous value for life on Mars.

住居を二重にすることで、疑似的な外をつくるアイデア。
雲がない火星でも、毎日の太陽光に変化があればと考えた。
外側の層に、雲を感じさせるような遮光機能を持たせる。



小型シェルターを連結する方法を想定したアイデア。
シェルター間の移動を「外」を感じる場所に変え、精神的な切り替えのタイミングをつくる。



研究の一環として、NASA 開催「低重力空間で使うトイレ」
のアイデアコンペに参加。地球での快適さを宇宙の条件でも
再現すること目指した、泡を使った小型トイレのアイデア。
宇宙へ向けたデザインのプロセスを体験した。

